





# たけおしたけおんせんえきしゅうへんちく さがけんたけおし 武雄市武雄温泉駅周辺地区（佐賀県武雄市） （都市再生整備計画事業）

## 1. 地区概要

本地区は、武雄温泉駅周辺及び図書館や体育施設、温泉街等の「周辺拠点エリア」までを含む地区である。当駅では九州新幹線西九州ルート暫定開業に向けて整備を進めており、開業で多くの来訪者が見込まれる。

こうした交流人口拡大の機会を見据えて、現在の駅前広場を機能再編し、憩い・交流の空間を創造する生活・観光の拠点となる駅前空間としての機能再編を行う。また、拠点方面への主要動線となる交通空間の整備、積極的な観光情報の発信により、駅及び周辺拠点エリアの連携強化を図り、賑わいと交流のあるまちづくりを推進する。

令和3年度は、武雄温泉駅南口の広場修景施設整備事業及び駐車システム整備事業を実施する。

## 2. 計画内容

所在地：佐賀県武雄市

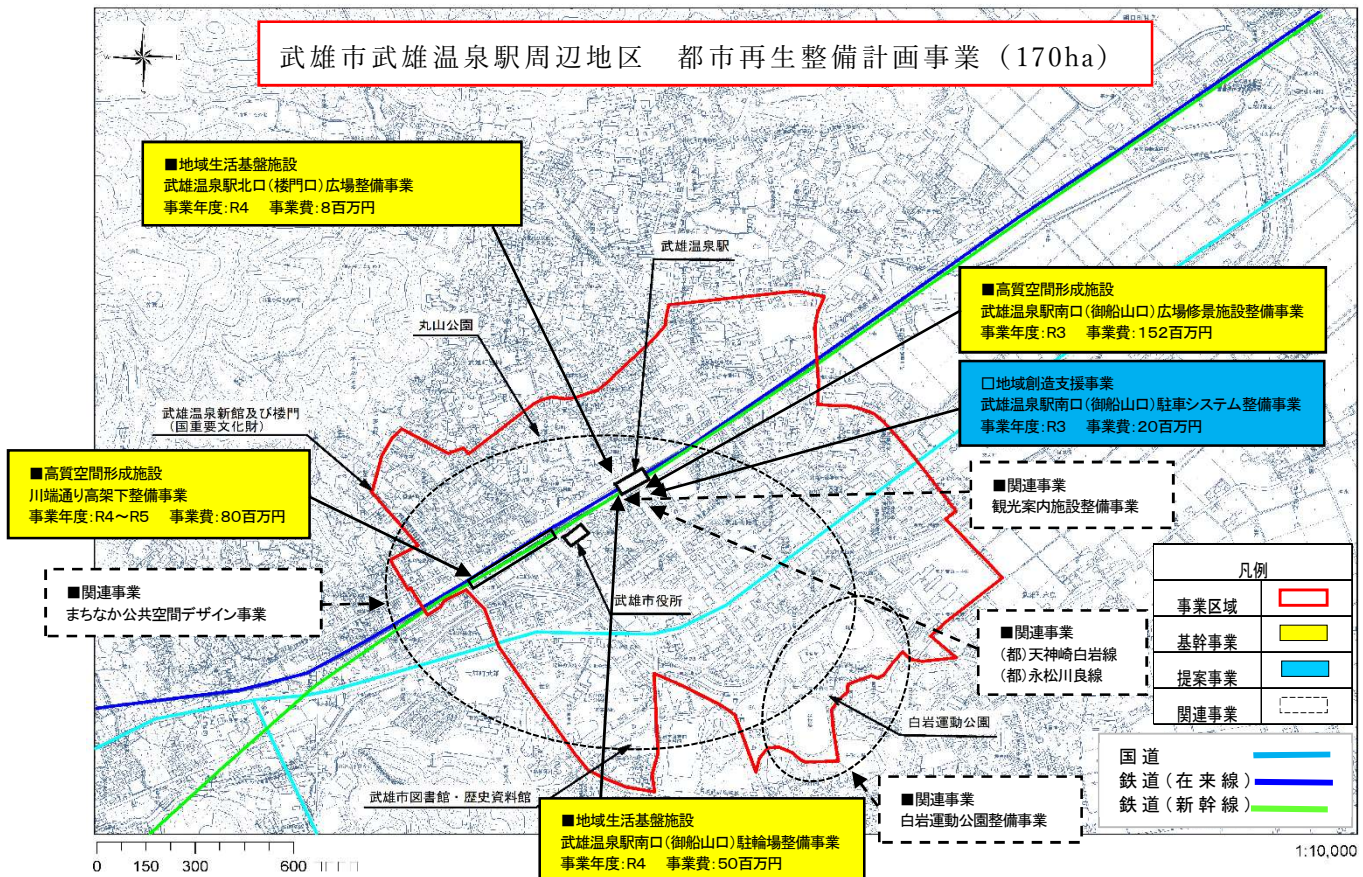
事業主体：武雄市

面積：170ha

交付期間：令和3年度～令和5年度

事業費：全体310百万円（国費：124百万円）

事業内容：駅前広場整備、高架下整備等



# 社会資本総合整備計画

新幹線開通による武雄のにぎわいを創出するまちづくり

令和3年1月

佐賀県武雄市

社会資本総合整備計画

計画の名称	新幹線開通による武雄のにぎわいを創出するまちづくり										重点配分対象の該当																												
計画の期間	令和3年度～令和5年度(3年間)			交付対象	武雄市																																		
計画の目標	<p>武雄温泉駅周辺と周辺拠点エリアの連携を強化し、賑わいと交流のあるまちづくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場の機能再編を行い、来訪者、駅利用者の交流を通じて駅周辺の賑わいと魅力の創出を図る。</li> <li>新駅における交通結節機能の充実及び周辺拠点エリアの各施設の連携を強化し、誰もが訪れ利用しやすく、回遊を創出する環境整備を図る。</li> </ul>																																						
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>武雄温泉駅周辺と各拠点施設の連携強化による賑わい創出効果を図る指標として、武雄温泉駅の1日当たり乗車人員 1,700人(R1)から1,850人(R5)に増加</li> <li>武雄温泉駅周辺と各拠点施設の連携強化による賑わい創出効果を図る指標として、観光交流センターの年間当たり利用者数 20,856人(R1)から22,000人(R5)に増加</li> <li>武雄温泉駅周辺の交流・賑わいづくりに寄与する駅前広場・高架下の新設効果を図る指標として、武雄温泉駅周辺地区での年間イベント開催数 54回(R1)から60回(R5)に増加</li> </ul>																																						
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th></th> <th>(R1)</th> <th>(R4末)</th> <th>(R5末)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・武雄温泉駅の乗車人員を把握する。(JR九州統計データ)</td> <td>1,700</td> <td></td> <td>1,850</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・観光交流センターの利用者数を把握する。(観光交流センター日報)</td> <td>20,856</td> <td></td> <td>22,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・武雄温泉駅周辺地区でのイベント数を調査する。(届け出件数)</td> <td>54</td> <td></td> <td>60</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値		(R1)	(R4末)	(R5末)		・武雄温泉駅の乗車人員を把握する。(JR九州統計データ)	1,700		1,850		・観光交流センターの利用者数を把握する。(観光交流センター日報)	20,856		22,000		・武雄温泉駅周辺地区でのイベント数を調査する。(届け出件数)	54		60	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																			
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																				
	(R1)	(R4末)	(R5末)																																				
・武雄温泉駅の乗車人員を把握する。(JR九州統計データ)	1,700		1,850																																				
・観光交流センターの利用者数を把握する。(観光交流センター日報)	20,856		22,000																																				
・武雄温泉駅周辺地区でのイベント数を調査する。(届け出件数)	54		60																																				
全体事業費	合計(A+B+C+D)	813百万円	A	813百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%																											
<b>交付対象事業</b>																																							
<b>A 基幹事業</b>																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考																						
A10-001	都市再生	一般	武雄市	直接	武雄市	武雄市武雄温泉駅周辺地区都市再生整備計画事業	170h a	武雄市	R3	R4	R5	R6	R7	310.0																									
A01-002	街路	一般	武雄市	直接	武雄市	(都)天神崎白岩線	現道拡幅 L=0.1km	武雄市						503.0																									
									合計					813.0																									
<b>B 関連社会資本整備事業(該当なし)</b>																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考																						
									R3	R4	R5	R6	R7	0																									
									合計					0																									
<b>C 効果促進事業</b>																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考																								
									R3	R4	R5	R6	R7	0																									
									合計					0																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																											
<b>D 社会資本整備円滑化地籍整備事業</b>																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考																								
									R3	R4	R5	R6	R7	0																									
									合計					0																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																											

交付金の執行状況

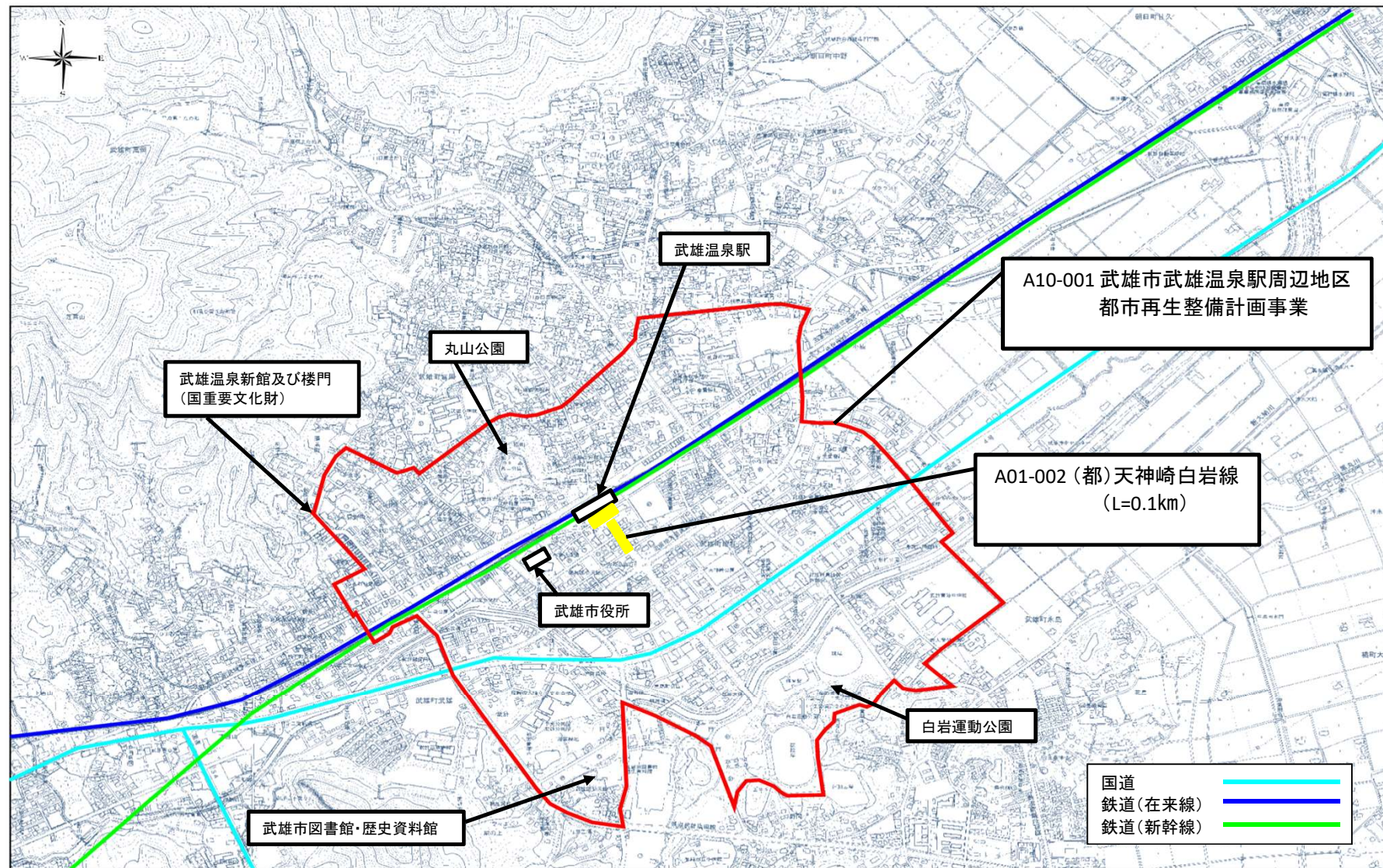
(単位:百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

- ※ 平成 年度以降の各年度の決算額を記載。
- ※ 平成 年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面)

計画の名称	1 新幹線開通による武雄のにぎわいを創出するまちづくり	交付対象	武雄市
計画の期間	令和3年度～令和5年度(3年間)		



1:10,000

# 都市再生整備計画

たけおしたけおおんせんえき  
武雄市武雄温泉駅周辺地区

佐賀県 たけお 武雄市

令和3年1月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	佐賀県	市町村名	武雄市	地区名	武雄市武雄温泉駅周辺地区	面積	170 ha
-------	-----	------	-----	-----	--------------	----	--------

計画期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度	交付期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度
------	-------------------	------	-------------------

目標

- 大目標：武雄温泉駅周辺と周辺拠点エリアの連携を強化し、賑わいと交流のあるまちづくりを推進する。
- 目標1 駅前広場の機能再編を行い、来訪者・駅利用者の交流を通じて駅周辺の賑わいと魅力の創出を図る。
- 目標2 新駅における交通結節機能の充実及び周辺拠点エリアの各施設の連携を強化し、誰もが訪れ利用しやすく、回遊を創出する環境整備を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

【まちづくりの経緯】

- ・昭和43年度：武雄駅南部地区土地区画整理事業(24ha)都市計画決定
- ・昭和50年度：武雄駅南部地区土地区画整理事業 換地処分
- ・昭和55年度：富岡地区土地区画整理事業(57.1ha)都市計画決定
- ・平成7年度：富岡地区土地区画整理事業 換地処分
- ・平成9年度：高架事業、武雄北部地区土地区画整理事業(9ha)都市計画決定
- ・平成10年度：「武雄中心市街地活性化計画」策定
- ・平成13年度：高架本體工事着手
- ・平成14年度：仮駅舎開業
- ・平成16年度：「武雄温泉駅周辺地区都市再生整備計画」策定
- ・平成17年度：1市2町 新設合併(新「武雄市」誕生)  
「武雄温泉駅周辺地区都市再生整備計画」第1期計画開始(事業期間：H17～H21) →川端遊歩道、中央公園、観光交流センター等を整備
- ・平成19年度：高架一次切替、新武雄温泉駅開業  
新幹線事業着工認可  
「武雄市総合計画」策定→九州新幹線西九州ルートの整備を見据えての本市の顔となる駅及び駅周辺の整備や、西九州の交通拠点として交流人口の拡大を図る方針を示す
- ・平成21年度：高架完成  
都市計画道路中野御船山線整備開始
- ・平成22年度：「武雄温泉駅周辺都市再生整備計画」第2期計画開始(事業期間：H22～H26)→白岩運動公園公衆トイレ(バリアフリー対応)、丸山公園園路等を整備  
新幹線事業に対応するため、武雄北部土地区画整理事業工区分け後、1工区換地処分
- ・平成24年度：都市計画道路永松川良線(Ⅰ期)整備開始
- ・平成25年度：都市計画道路天神崎白岩線(駅前広場含む)整備開始  
武雄市図書館リニューアルオープン
- ・平成29年度：武雄市こども図書館オープン
- ・平成30年度：都市計画道路永松川良線(Ⅰ期)整備完了
- ・令和1年度：武雄北部土地区画整理事業 2工区換地処分

【現況】

- ・令和4年度の九州新幹線西九州ルート暫定開業に向けて、新幹線を活用したまちづくりを進めるために官民一体となり検討を進めている。
- ・令和6年度の国民スポーツ大会に向けて、スポーツに対する機運が高まっている。新幹線や在来線を利用した来訪者が多数見込まれるため、大会のみではなく市内を回遊してもらう環境整備が急務となっている。

課題

- ・当市は西九州のハブ都市としての立地条件を有しているが、現在の駅前広場は広場面積の大部分が交通広場となっているため、九州新幹線西九州ルートの暫定開業に向けて、周辺住民の利便性向上はもちろん、観光拠点としての抜本的な駅前広場の機能再編が必要である。
- ・武雄温泉駅と周辺拠点エリアとの連携を図り、さらに拠点を結ぶ主要導線の快適性・回遊性を向上させることで、賑わいの創出につなげることが必要である。
- ・市の玄関口として武雄温泉駅駅舎に観光交流センターを整備しているが、九州新幹線西九州ルートの開業に向けて、市外、さらにインバウンドの来訪者を迎えるため、観光や物産品等の迅速かつ効果的な情報発信が必要である。

将来ビジョン(中長期)

【武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年度～)】  
”武雄の未来を拓く「西九州のハブ都市」の実現”に向けて、以下の基本的方向を定めている。

- ①九州新幹線西九州ルートの暫定開業を契機に、佐賀と長崎をつなぐ拠点都市として、新たな人の流れと交流の創出を図る。
- ②観光、文化、スポーツ等の分野について、連携した取り組みを推進するとともに、一つの自治体の枠にとらわれず、地域間や経済圏など広域での連携・協働を推進する。
- ③住んでいる人が武雄の魅力を知り、誇りをもつこと、そして、地域と継続的に多様な形で関わる地域のファンやリピーター等「関係人口」の創出・拡大を図ることが必要である。
- ④国や地域、個人で異なる嗜好を踏まえ、日常の中にある資源や武雄の強みを効果的に「情報発信」することにより、認知度を向上させる取り組みを推進する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
武雄温泉駅の乗車人員	人/日	JR武雄温泉駅の1日当たり乗車人員	駅周辺と各拠点施設の連携による賑わい創出効果を表す指標	1,700	R1	1,850	R5
観光交流センターの利用者数	人/年	観光交流センターの年間利用者数	駅周辺と各拠点施設の連携による賑わい創出効果を表す指標	20,856	R1	22,000	R5
武雄温泉駅周辺地区でのイベント数	回/年	武雄温泉駅周辺地区でのイベント開催数	駅周辺エリアの賑わいに寄与する駅前広場・高架下の新設効果を表す指標	54	R1	60	R5

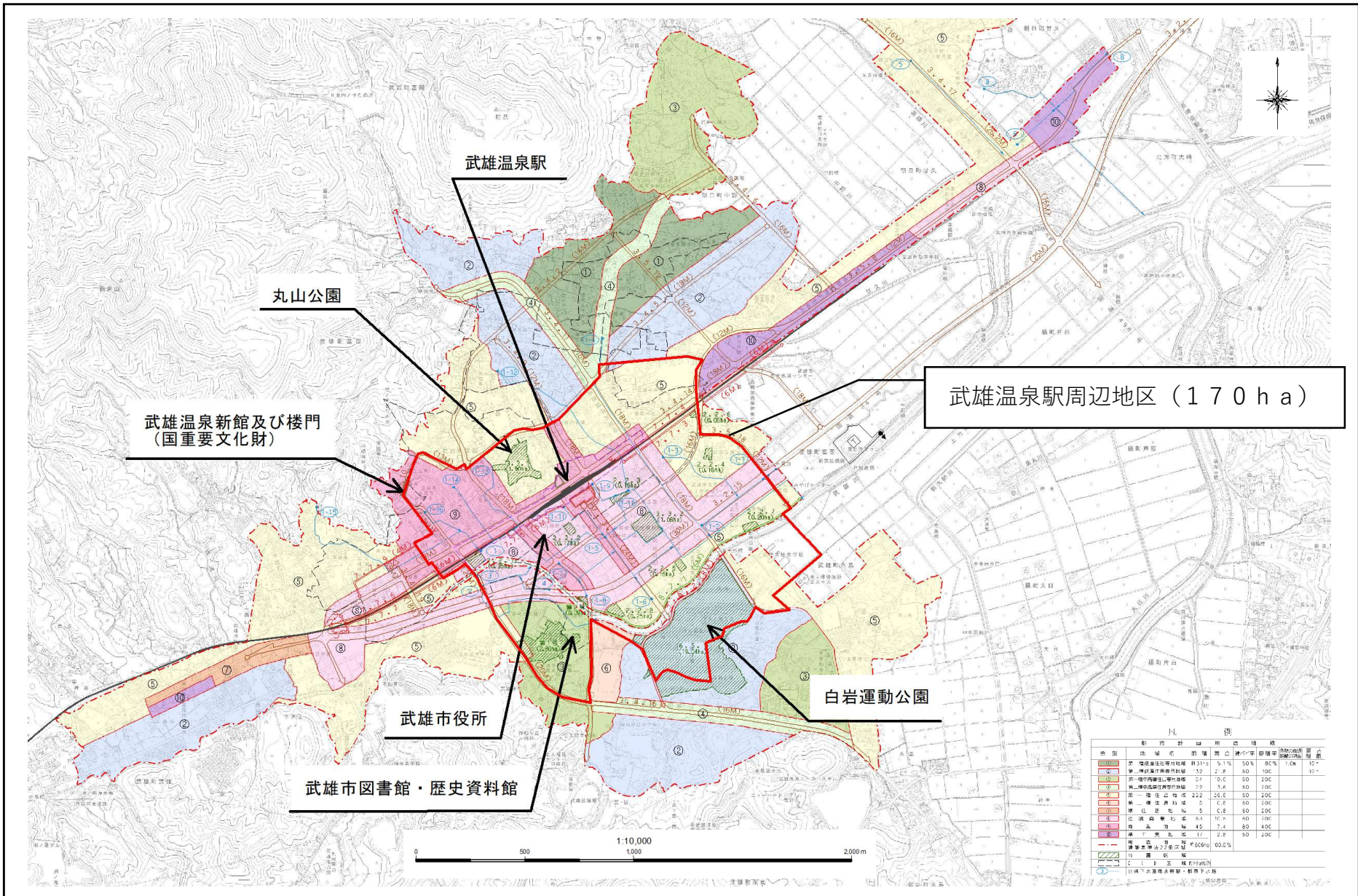
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1 駅前広場の機能再編</b></p> <p>武雄温泉駅の南口(御船山口)駅前広場は、平成19年度の高架1次開業時に整備されたものの、基盤整備は昭和40年代の土地区画整理事業によって行われたものである。現状は、広場面積の大部分が交通広場となっているため、交通広場機能を再編し、憩い・交流の空間を創造する生活・観光の拠点となる駅前空間としての機能再編を行う。</p> <p>今回の機能再編により、交通結節点である武雄温泉駅を中心として、南は図書館、体育施設等、北は武雄温泉楼門(国史跡)を中心とした温泉街を有機的につなぐ南北軸の形成を図り、駅から各拠点方面への人の流れを生み出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武雄温泉駅の駅前広場(南口・北口)を、人が集い・佇み・交流できる、まちの玄関口としての駅前広場へと再編する。</li> <li>・駅前広場内の交通広場について、動線に配慮した計画的な整備を行うことにより、バス・タクシー・一般車がスムーズに利用できる空間へと再編する。</li> <li>・駅前広場内の自転車駐車場を再整備し、広場内の歩道へ雨よけ庇や舗装整備を行うなど総合的にバリアフリー化を推進し、利用者にとって安全で快適な交通環境の創出を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <p>地域生活基盤施設</p> <p>武雄温泉駅北口(楼門口)広場整備事業:市</p> <p>武雄温泉駅南口(御船山口)駐輪場整備事業:市</p> <p>高質空間形成施設</p> <p>武雄温泉駅南口(御船山口)広場修景施設整備事業:市</p> <p>【提案事業】</p> <p>地域創造支援事業</p> <p>武雄温泉席南口(御船山口)駐車システム整備事業:市</p>
<p><b>整備方針2 駅及び周辺拠点エリアの各施設の連携強化</b></p> <p>武雄温泉駅周辺には平成25年度にリニューアルオープンした市立図書館や白岩運動公園、武雄温泉楼門(国重要文化財)を中心とした温泉街など拠点となる公共施設や観光施設がある。特に令和4年度の九州新幹線西九州ルート暫定開業、令和6年度の国民スポーツ大会に向けて、駅とこれらの拠点の回遊性の向上はさらに重要度を増している。</p> <p>ついでには、快適な歩行空間の整備及び積極的な観光等の情報発信により、周辺拠点エリアの各施設の連携強化を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武雄温泉駅周辺及び各施設間を徒歩で安全・快適に移動できる遊歩道の整備を進める。</li> <li>・来訪者や市民の交流空間となる観光交流センターを再整備し、文化・観光情報の発信地として位置づけることで、周辺拠点エリアの回遊性の向上を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <p>高質空間形成施設</p> <p>川端通り高架下整備事業:市</p> <p>【関連事業】</p> <p>観光案内施設整備事業:市</p>
<p>その他</p> <p>○「九州新幹線武雄温泉駅開業に向けた魅力創造行動計画(H31)」との連携</p> <p>駅周辺整備・高架下等の有効活用・広報戦略等</p> <p>⇒ハブ都市に向けた魅力・快適性向上のための整備</p>	



都市再生整備計画の区域

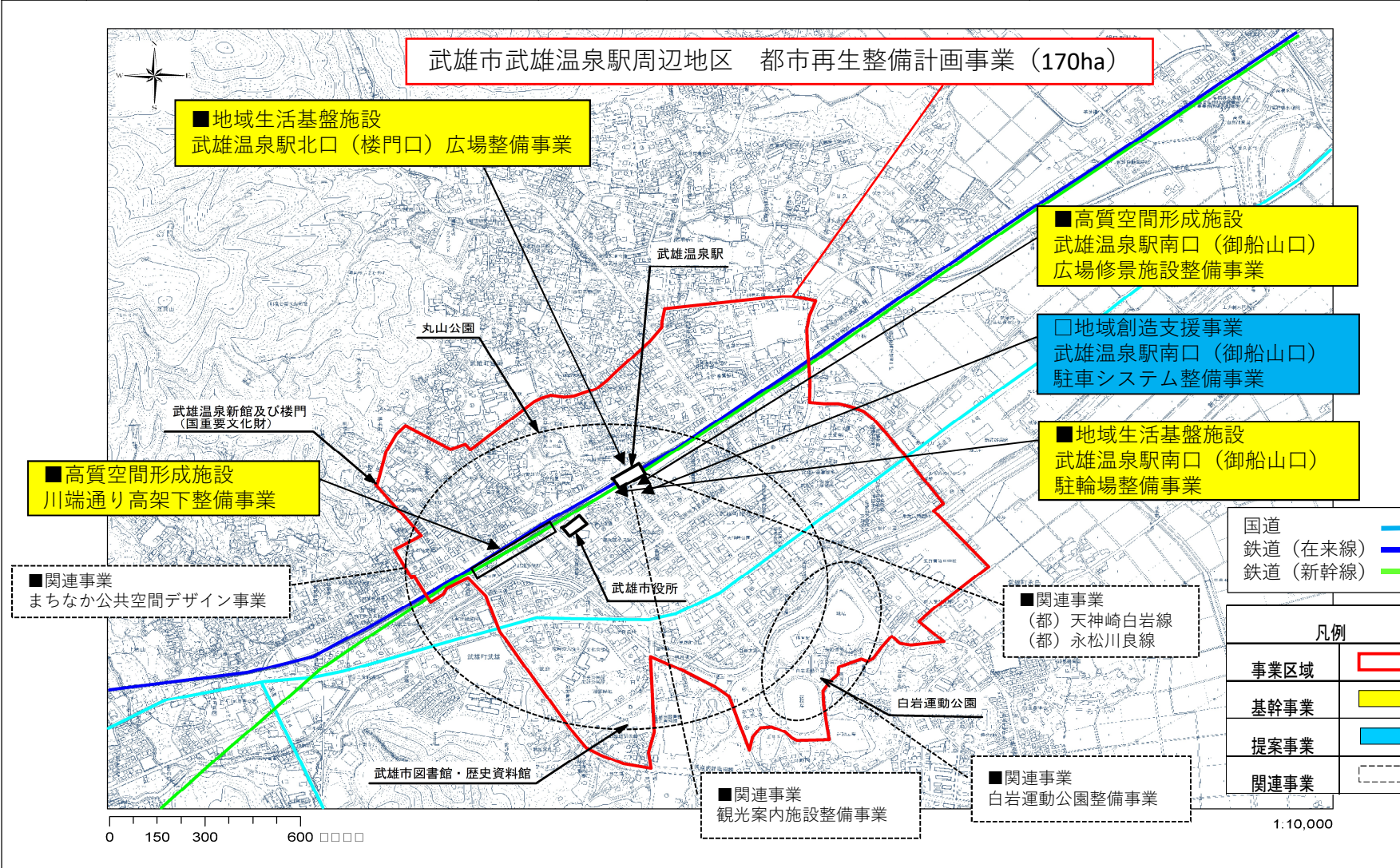
様式(1)-⑥

武雄市武雄温泉駅周辺地区（佐賀県武雄市）	面積	170ha	区域	たけおちょう とみおか 武雄町大字富岡の一部、 武雄町大字昭和の一部
----------------------	----	-------	----	---------------------------------------



武雄市武雄温泉駅周辺地区（佐賀県武雄市）整備方針概要図（都市再生整備計画事業）

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大目標：武雄温泉駅周辺と周辺拠点エリアの連携を強化し、賑わいと交流のあるまちづくりを推進する。</li> <li>○目標1：駅前広場の機能再編を行い、来訪者・駅利用者の交流を通じて駅周辺の賑わいと魅力の創出を図る。</li> <li>○目標2：新駅における交通結節機能の充実及び周辺拠点エリアの各施設の連携を強化し、誰もが訪れ利用しやすく、回遊を創出する環境整備を図る。</li> </ul>	代表的な指標	J R 武雄温泉駅の乗車人員（人／日）	1,700人（R1年度）→1,850人（R5年度）
			観光交流センターの利用者数（人／年）	20,856人（R1年度）→22,000人（R5年度）
			武雄温泉駅周辺地区でのイベント数（回／年）	54回（R1年度）→60回（R5年度）

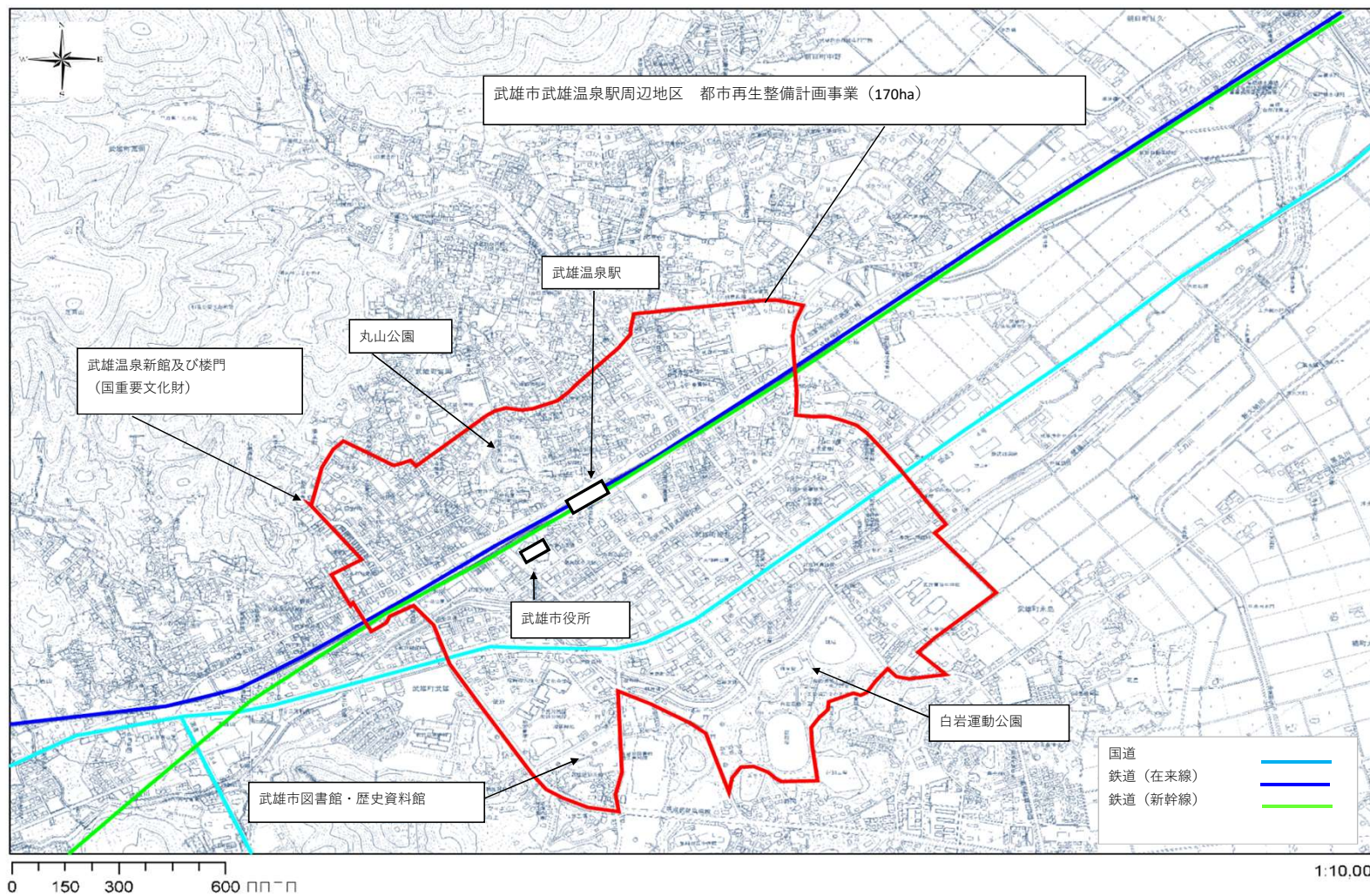


# 都市再生整備計画の添付書類等

## 交付対象事業別概要

たけおしたけおおんせんえき  
武雄市武雄温泉駅周辺地区（佐賀県たけお武雄市）

### 武雄市武雄温泉駅周辺地区（佐賀県武雄市）現況図



交付限度額算定表（その1）

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	124.0 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	11,007.0 百万円	X≦Yゆえ、	本計画における交付限度額	124.0 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	--------------	--------	--------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

**Au** 680,000 m<sup>2</sup> 公共施設の上限整備水準

区域面積 (m <sup>2</sup> )	1,700,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
	その他の地域	0.40

**Ci** 49,100 円/m<sup>2</sup> 単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	3
公示価格の平均値 (円/m <sup>2</sup> )	49,100
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度 (戸/m <sup>2</sup> )	
標準補償費 (円/戸)	44,000,000

**Cf** 23,000 円/m<sup>2</sup>

**控除額** 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名 (事業名)	面積 (m <sup>2</sup> )	国庫補助事業費等 (百万円)
合計	0	0

**Ap** 374668.4 m<sup>2</sup> 公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定

推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積 (m <sup>2</sup> )	0

**個別公共施設の積み上げ**

	面積 (m <sup>2</sup> )	割合
道路	348,248	0.2
公園	23,530	0.01
広場	0	0
緑地	2,890	0
公共施設合計	374,668	0.22

**Cn**を考慮しない場合の交付限度額 (Y1) 11007 百万円

**ΣCn** 0 円

下水道

区域面積 (m <sup>2</sup> )	1,700,000
うち現況の供用済み区域面積 (m <sup>2</sup> )	
標準整備費 (円/m <sup>2</sup> )	3,600

地域交流センター等の公益施設 (建築物) 0 円

上限床面積 (m <sup>2</sup> )	9,400
標準整備費 (円/m <sup>2</sup> )	429,100

調整池 0 円

調整池の容積 (m <sup>3</sup> )	
標準整備費 (円/m <sup>3</sup> )	140,000

河川 0 円

河川整備延長 (m)	
標準整備費 (円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数 (戸)	超高層		
	一般		
	合計	0	
標準整備費 (円/戸)	超高層	一般	
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積 (m <sup>2</sup> )	
標準共同施設整備費 (円/m <sup>2</sup> )	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長 (m)	
標準整備費 (円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積 (m <sup>2</sup> )	
標準整備費 (円/m <sup>2</sup> )	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費 (円)

**Cn**を考慮した場合の交付限度額 (Y2) 11007 百万円

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集中支援事業>

交付限度額(X1)	百万円
-----------	-----

<都市再生整備計画事業>

交付限度額(X2)	124.0 百万円
-----------	-----------

<まちなかウォークアブル推進事業>

交付限度額(X3)	百万円
-----------	-----

## 交付限度額算定表(その2)(都市再生整備計画事業)

様式(2)-④-2

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

### 交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

#### ○交付対象事業費

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	290.000	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	124.000	① (国費)
	提案事業合計(B)	20.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	161.111	② (国費)
	合計(A+B)	310.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	124.000	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.065		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

#### ○拡充の有無

以下の2つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を入力。

・3)式の適用[提案事業枠2割拡充]	(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・4)式の適用[都市再生緊急整備地域等の国費率45%拡充]	(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	124.000	⑥ (国費)
			3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

#### ○4)式の適用がある場合の事業費等

4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	適用前の国費率※		⑧ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)	※計画認定日の属する年度の年度末における1)式から3)式を適用して算出した交付限度額を交付対象事業費の事業費で除した値		
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑨ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)	適用後の国費率(⑨÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑩ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)	4)式適用後の限度額(⑧×F+⑩×H)	#DIV/0!	⑪ (国費)

※都市再生整備計画事業の当初から4)式の適用を受ける場合は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

交付限度額	124.000	⑫ (国費)
-------	---------	--------

#### ○交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B)	310.0	(事業費)	交付要綱に基づく交付限度額(⑫を1万円の位を切り捨て)	124.0	⑬ (国費)
			国費率	0.400	⑭ (国費率)

年次計画(都市再生整備計画事業)

様式(2)-5-2  
(事業費：百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業	細項目								
道路									
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	広場	武雄温泉駅北口(楼門口)広場整備事業	武雄市	8		8			
	自転車駐車場	武雄温泉駅南口(御船山口)駐輪場整備事業	武雄市	50		50			
高質空間形成施設	緑化施設等	武雄温泉駅南口(御船山口)広場修景施設整備事業	武雄市	152	152				
	緑化施設等	川端通り高架下整備事業	武雄市	80		5	75		
高次都市施設	観光交流センター								
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				290	152	63	75	0	0
提案事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業	細項目								
地域創造 支援事業	駐車システムの設置	武雄温泉駅南口(御船山口)駐車システム整備事業	武雄市	20	20				
事業活用 調査									
まちづくり活動 推進事業									
計				20	20	0	0	0	0
合計				310	172	63	75	0	0
累計進捗率 (%)					55.5%	75.8%	100.0%	100.0%	100.0%
(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業									
事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度
合計			0	0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
(参考)関連事業									
事業	事業箇所名	事業主体	全体 事業費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
観光案内施設整備事業	観光案内施設	武雄市	80	80					
合計			80	80	0	0	0	0	
累計進捗率 (%)				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

# 地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地									
広場	武雄温泉駅北口(楼 門口)広場整備事業	武雄市	面積:260㎡	8	0	0	8	—	
広場									
広場									
駐車場									
自転車駐車場	武雄温泉駅南口(御 船山口)駐輪場整備 事業	武雄市	駐輪場 N=150台	50	0	0	50	—	都市計画決定:無 自転車駐車場施設整 備計画:無 自転車駐車場に關す る附置義務条例:無
荷物共同集配施設									
公開空地									
情報板								—	
地域防災施設	施設種別:								
人工地盤								—	
合計	—	—	—	58	0	0	58		

## 基幹事業(地域生活基盤施設)

### 【現況】



### 【整備後イメージ】



### 法面イメージ



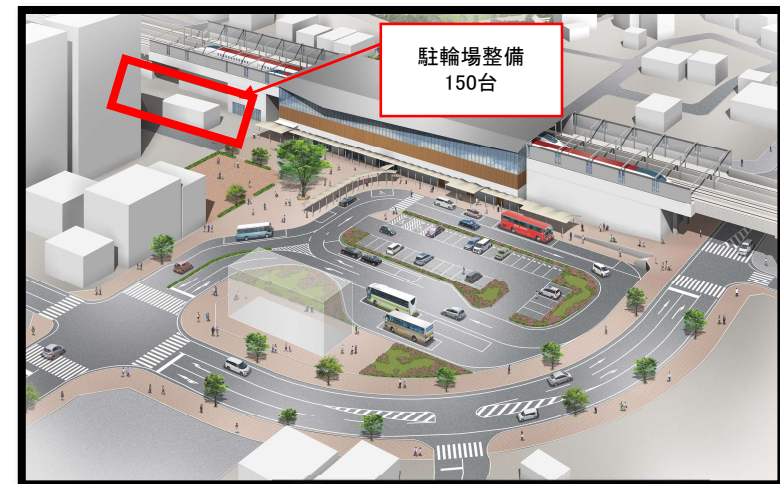
個別事業名	武雄温泉駅北口(楼門口)広場整備事業
整備目的	現在の駅北口広場は、平成25年に整備されたものである。広場の周囲を囲む法面には、多数の雑草が群生しているため、市への訪問者を迎える玄関口として良好な景観の形成を図る。
事業期間	令和4年度
事業内容	広場法面の緑化整備
事業費	8百万円
整備効果	良好な景観を保つことができ、まちの玄関口としての清潔感と安らぎを来訪者や住民に与えられる。

基幹事業(地域生活基盤施設)

【現況】



【整備後イメージ】



駐輪場イメージ



個別事業名	武雄温泉駅南口(御船山口)駐輪場整備事業
整備目的	現在の駅前広場は、平成19年度の高架1次開業時に整備されたものの、基盤整備は昭和40年代の土地区画整理事業によって行われたものである。駅前広場の整備と併せて、駅前広場内の自転車駐輪場を再配置し、駅利用者の利便性確保を図る。
事業期間	令和4年度
事業内容	サイクルポート及びサイクルスタンド等の整備
事業費	50百万円
整備効果	利用者にとって快適で安全な交通環境が創出される。利便性の向上により、駅利用者の増加が期待される。

# 高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、給電・給排水施設、ストリートファニチャー・モニュメント、土塁、堀跡等)	武雄温泉駅南口(御船山口)広場修景施設整備事業	武雄市	駅前広場 5,800㎡	152	0	0	152	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、給電・給排水施設、ストリートファニチャー・モニュメント、土塁、堀跡等)	川端通り高架下整備事業	武雄市	舗装工事 4,200㎡	80	5		75	
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設								
歩行支援施設、障害者誘導施設等								
情報化基盤施設								
合計	—	—	—	232	5	0	227	

## 基幹事業(高質空間形成施設)

### 【現況】



個別事業名 武雄温泉駅南口(御船山口)広場修景施設整備事業

整備目的 現在の駅前広場は、平成19年度の高架1次開業時に整備されたものの、基盤整備は昭和40年代の土地区画整理事業によって行われたものであり、現状は広場面積の大部分が交通広場となっている。交通広場機能を再編し、憩い・交流の空間を創造する生活・観光の拠点となる駅前空間としての機能再編を行う。広場の舗装工事や歩道に雨よけ庇の整備を行うなどのバリアフリー化を推進し、利用者にとって安全で快適な交通環境の創出と、駅前広場を中心としたまちづくりのイベント等において、交流人口活性化を図る。

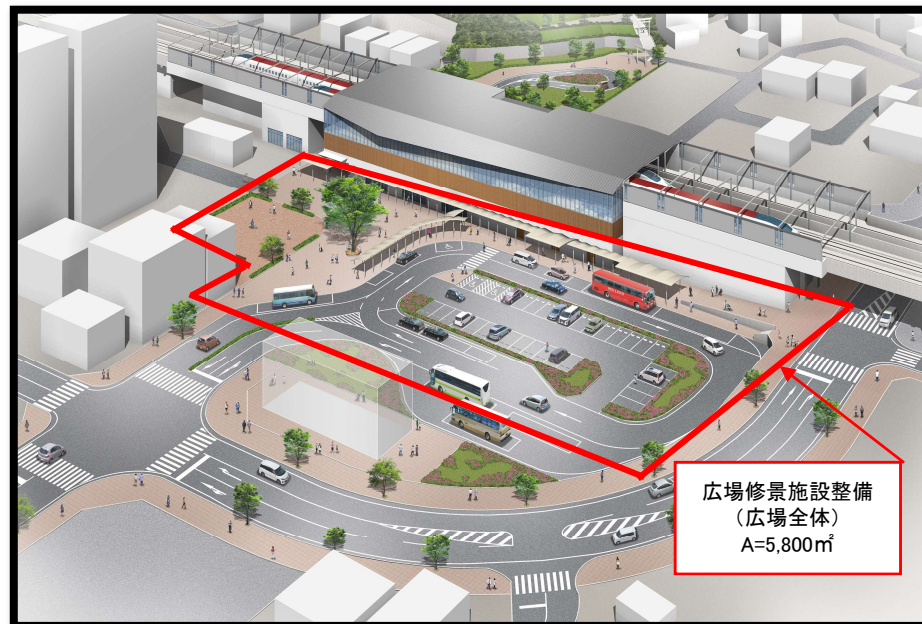
事業期間 令和3年度

事業内容 広場内の歩道へ雨よけ庇の整備、舗装工事

事業費 152百万円

整備効果 駅前広場の人口交流を活性化させ、広場のにぎわいを創出する。バリアフリー化を推進し、利用者にとって安全で快適な交通環境を図る。

### 【整備後イメージ】

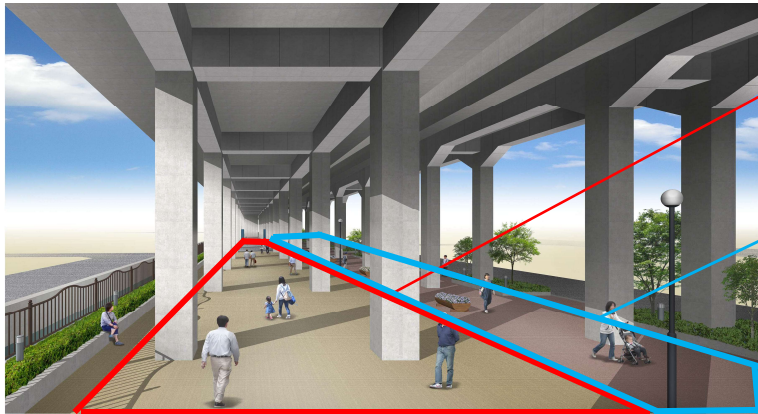


### 整備後イメージ



## 基幹事業(高質空間形成施設)

【新幹線高架下 昼間のイメージ図】



新幹線高架下  
遊歩道整備

既整備  
在来線下遊歩道

【新幹線高架下 夜間(イベント時)のイメージ図】



個別事業名 川端通り高架下整備事業

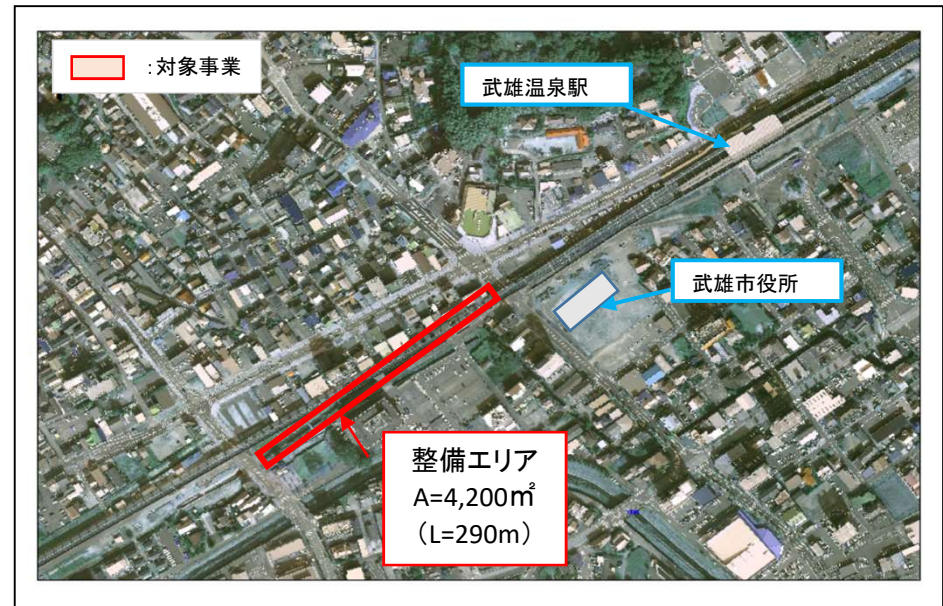
整備目的 現在の川端通りは、在来線高架下の空間を遊歩道として連続立体交差事業において整備しており、駅と周辺拠点エリアを結ぶ主要な動線となっている。九州新幹線西九州ルートの開業に向けて、再整備を行うことにより、駅周辺及び、周辺拠点エリアの回遊性を向上させる。

事業期間 令和4年度～5年度

事業内容 在来線及び新幹線の高架下の遊歩道整備

事業費 80百万円 (透水性アスファルト舗装及びカラー舗装 約4,200万円、電気設備(街路灯…約10基、足元灯…約40基) 約3,800万円)

整備効果 駅とその周辺エリアへの回遊性が高まることにより、観光客の利便性が図られ、まちなかに賑わいが創出される。また、既設の在来線高架下遊歩道と併設することにより、汎用性の高い空間が生まれ、住民のゆとりある安全な歩道の確保や交流人口の増加が図られる。





提案事業(地域創造支援事業)

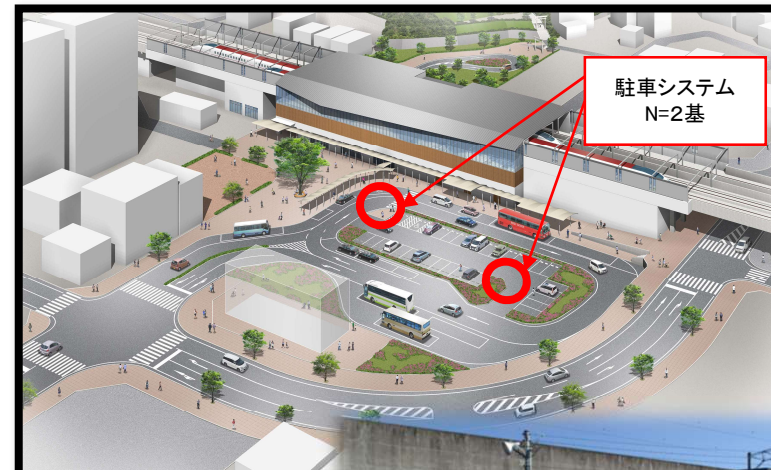
【現況】



駐車場 現況



【整備後イメージ】



駐車システムイメージ



個別事業名	武雄温泉駅南口(御船山口)駐車システム整備事業
整備目的	現在の駅前広場は、平成19年度の高架1次開業時に整備されたものの、基盤整備は昭和40年代の土地区画整理事業によって行われたものである。駅前広場内の駐車場整備と合わせて、駐車システムを整備し、利用者の安全と利便性を図る。
事業期間	令和3年度
事業内容	駐車システム整備
事業費	20百万円
整備効果	利便性の向上により、駅利用者の増加が期待される。 入庫、出庫を規制することにより、駅前広場内の交通安全が保たれる。

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:新幹線開通による武雄のにぎわいを創出するまちづくり 事業主体名:武雄市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

# 社会資本整備総合交付金 事前評価チェックシート

(道路事業)

計画の名称:新幹線開通による武雄のにぎわいを創出するまちづくり 事業主体名:武雄市

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合等	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	○
整合を図っている上位計画名を記載。	都市計画区域マスタープラン、武雄市国土利用計画
2)広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	○
②目標の客観性・具体性・地域性	
1)数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
2)地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境	
1)計画・事業の熟度が十分である。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○
3)計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○

# 『目標を定量化する指標と事業の関係検証シート』

都道府県名	市町村名	地区名
佐賀県	武雄市	武雄市武雄温泉駅周辺地区

地域の課題	地域の資源
<ul style="list-style-type: none"> <li>●九州新幹線西九州ルートの開業に向けて、生活や観光の拠点としての抜本的な駅前広場の機能再編が必要である。</li> <li>●武雄温泉駅と周辺拠点エリアとの連携を図り、回遊性を向上させ、賑わいの創出につなげる必要がある。</li> <li>●市・県外及び国外からの来訪者を迎えるための観光や特産品等の効果的な情報発信が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●武雄温泉駅</li> <li>●武雄温泉新館及び楼門、武雄市図書館・歴史資料館、白岩運動公園</li> <li>●観光交流センター</li> </ul>

まちづくりの目標
<p><b>大目標</b> 武雄温泉駅周辺と周辺拠点エリアの連携を強化し、賑わいと交流のあるまちづくりを推進する。</p> <p>目標1 駅前広場の機能再編を行い、来訪者・駅利用者の交流を通じて駅周辺の賑わいと魅力の創出を図る。</p> <p>目標2 新駅における交通結節機能の充実及び周辺拠点エリアの各施設の連携を強化し、誰もが訪れ利用しやすく、回遊を創出する環境整備を図る。</p>

整備方針	対応関係	事業名・箇所名	目標を定量化する指標			
			指標1	指標2	指標3	
			駅の乗車人数	観光交流センターの利用者数	駅周辺地区でのイベント開催数	
1 駅前広場の機能再編		【基幹事業】				
		道路				
		■地域生活基盤施設				
		・武雄温泉駅北口(楼門口)広場整備事業	△	△	△	
		・武雄温泉駅南口(御船山口)駐輪場整備事業	○	△	△	
		■高質空間形成施設				
		・武雄温泉駅南口(御船山口)広場修景施設整備事業	○	△	○	
		・川端通り高架下整備事業	△	△	△	
		【提案事業】				
		□地域創造支援事業				
・武雄温泉駅南口(御船山口)駐車システム整備事業	△	△	△			
2 駅及び周辺拠点エリアの各施設の連携強化						

表 指標と事業の関係シートの評価基準

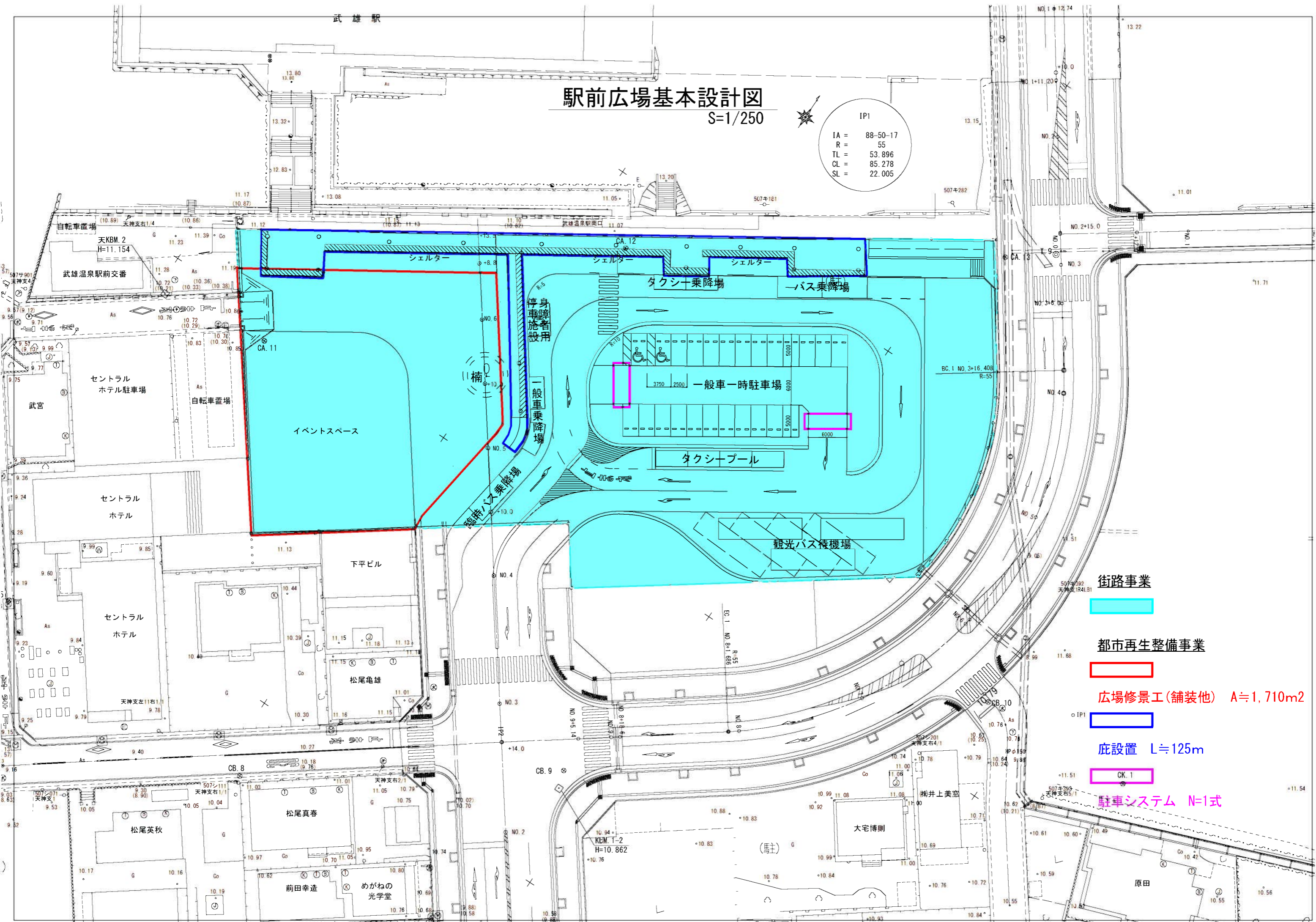
評価の基準	結果の記載
事業が指標の直積的改善になる。	○
事業が指標を直接改善しないが、間接的に改善することが見込まれる。	△
事業を行っても指標の直接的、間接的改善につながらない。	×

# 駅前広場基本設計図

S=1/250

IP1

IA =	88-50-17
R =	55
TL =	53.896
CL =	85.278
SL =	22.005



街路事業



都市再生整備事業



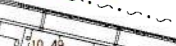
広場修景工(舗装他) A≒1,710m<sup>2</sup>



底設置 L≒125m



駐車システム N=1式



CK.1



自転車置場  
天KBM.2  
H=11.154  
武雄温泉駅前交番

セントラル  
ホテル駐車場  
武宮

セントラル  
ホテル

セントラル  
ホテル

松尾英秋

松尾真春

前田幸造  
めがねの  
光学堂

身障者用  
一般車乗降場  
臨時バス乗降場

シェルター  
タクシ乗降場  
バス乗降場

一般車一時駐車場  
タクシープール

観光バス待機場

下平ビル

松尾亀雄

KBM. T-2  
H=10.862

大宅博則

榎井上美窓

原田